



2027年3月期第1四半期決算補足資料

2026.8.10

© GMS GROUP All Rights Reserved. | Confidential

2027年3月期第1四半期決算補足資料

- 1 2027年3月期第1四半期 業績の概要
- 2 2027年3月期見通し
- 3 2027年3月期 配当
- 4 PMI進捗状況





1

2027年3月期第1四半期 業績の概要

1-1 2027年3月期第1四半期 連結経営成績

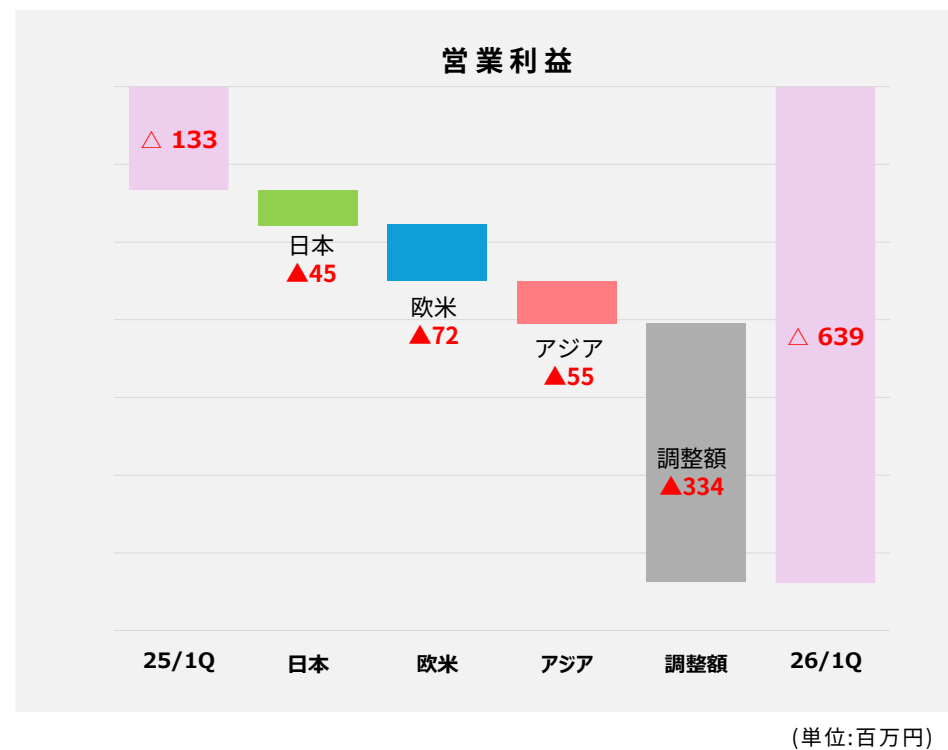
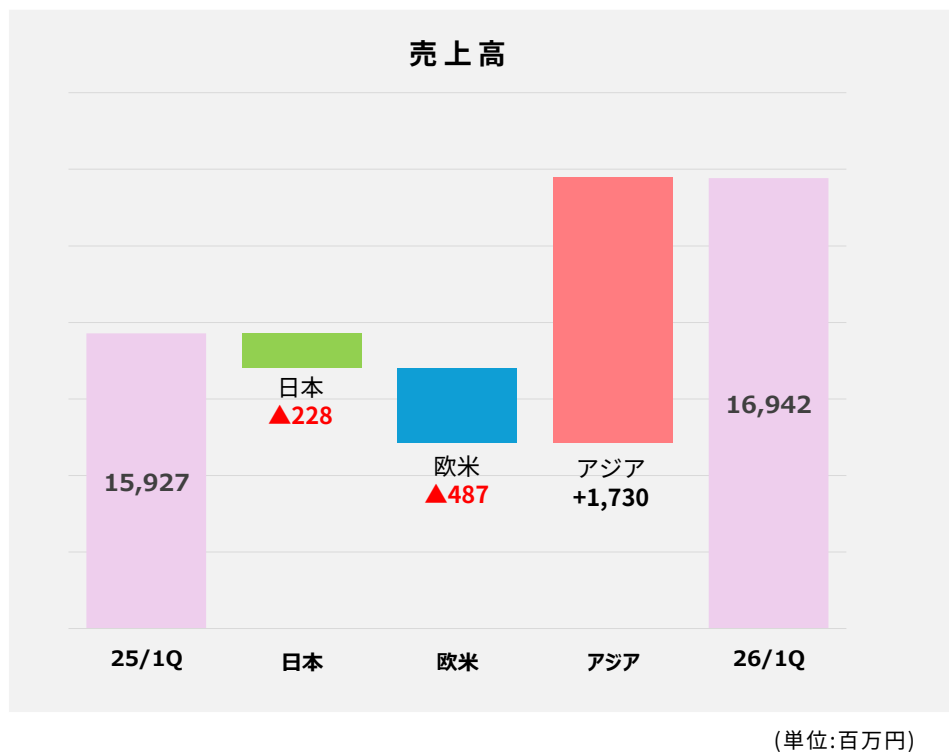
単位:百万円	2025年度 1Q (※2社単純合算)	2026年度 1Q実績	前 年 同 期 比	
			増減額	増減率
売 上 高	15,927	16,942	+1,015	+6.4%
売 上 原 価	11,486	13,049	+1,563	+13.6%
売 上 総 利 益	4,440	3,892	▲548	▲12.3%
管 理 販 売 費	4,573	4,532	▲41	▲0.9%
営 業 利 益 (営業利益率)	▲133 ▲0.8%	▲639 ▲3.8%	▲506	—
経 常 利 益	320	▲231	▲551	▲172.2%
四 半 期 純 利 益	124	6,110	+5,986	—
1株当り四半期純利益	6.36円	88.05円	+81.69円	—

POINT

売上高は、中国やインド向けの自動車・生活用品関連などアジア向けが増加し、前年同期比6.4%増の169億4千2百万円となった
 営業利益は長期化する円安の影響による部材価格高騰やエネルギーコストの上昇、生産量の減少に伴う固定費の回収不足の影響により、▲6億3千9百万円、経常利益は▲2億3千1百万円となった
 親会社株主に帰属する四半期純利益は、負ののれん（65億9千6百万円）を計上したこと等により、61億1千万円となった

1-2 売上高・営業利益の増減内訳

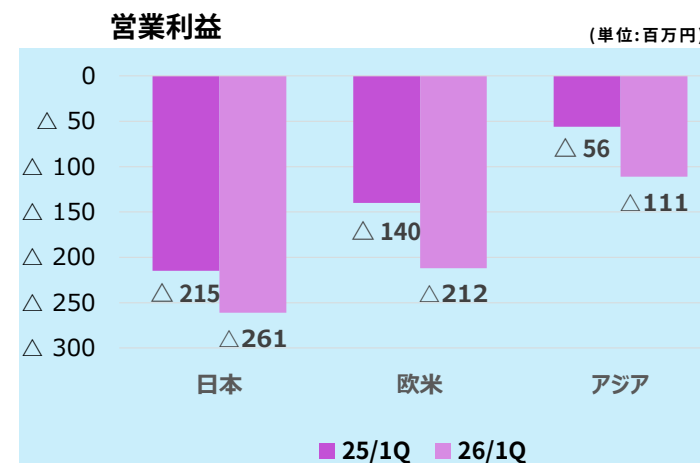
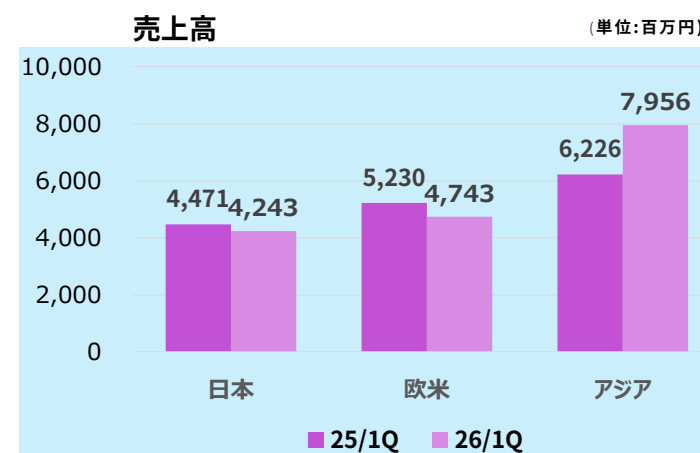
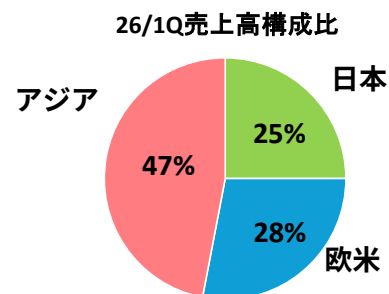
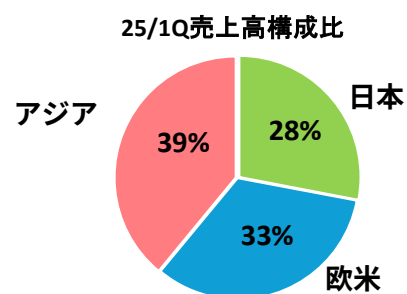
売上高は、日本・欧米は減少したものの、アジアが大きく（17億3千万円）増加したことにより、10億1千5百万円増加
 営業利益は、日本・欧米は売上高の減少、アジアは販売価格競争の激化により、赤字となった



1-3 セグメント別（日本・欧米・アジア）業績の概要

セグメント別売上高は、日本・欧米は減少したものの、アジアが28%増の79億5千6百万円となった
構成比は、日本25%、欧米28%、アジア47%となりアジアが伸長

(単位：百万円)		25年度1Q (2社単純合算)	26年度1Q (実績)	前期比	
				増減額	増減比
日本	売上高	4,471	4,243	△ 228	-5.1%
	営業利益	△ 215	△ 261	△ 46	-
	(%)	-4.8%	-6.2%	-1.3%	-
欧米	売上高	5,230	4,743	△ 487	-9.3%
	営業利益	△ 140	△ 212	△ 72	-
	(%)	-2.7%	-4.5%	-1.8%	-
アジア	売上高	6,226	7,956	1,730	27.8%
	営業利益	△ 56	△ 111	△ 55	-
	(%)	-0.9%	-1.4%	-0.5%	-
営業利益調整額		278	△ 55	△ 333	-

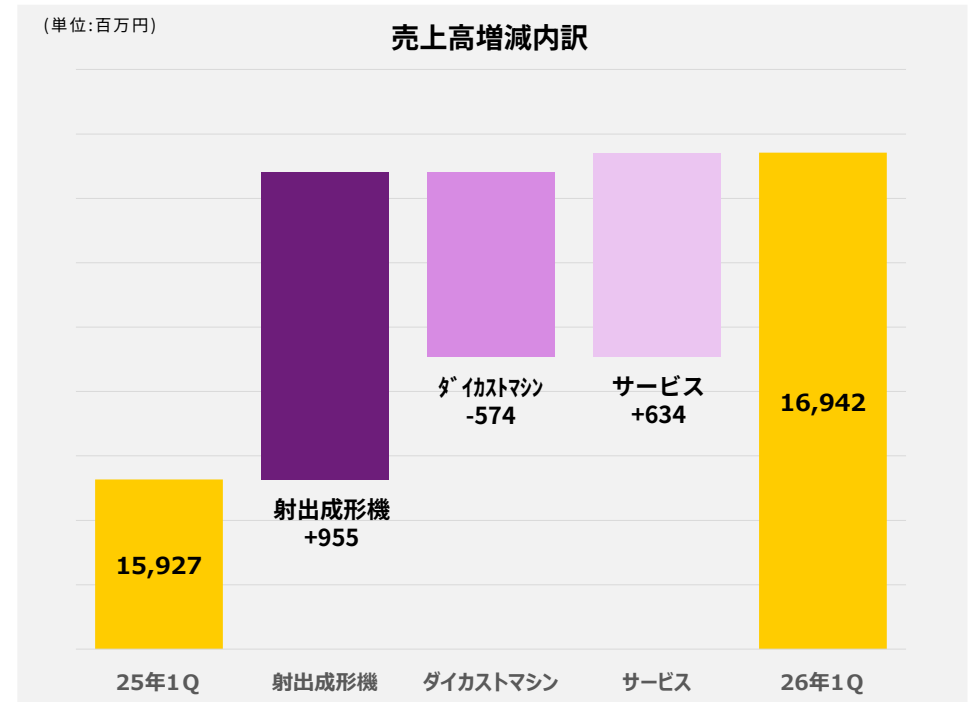
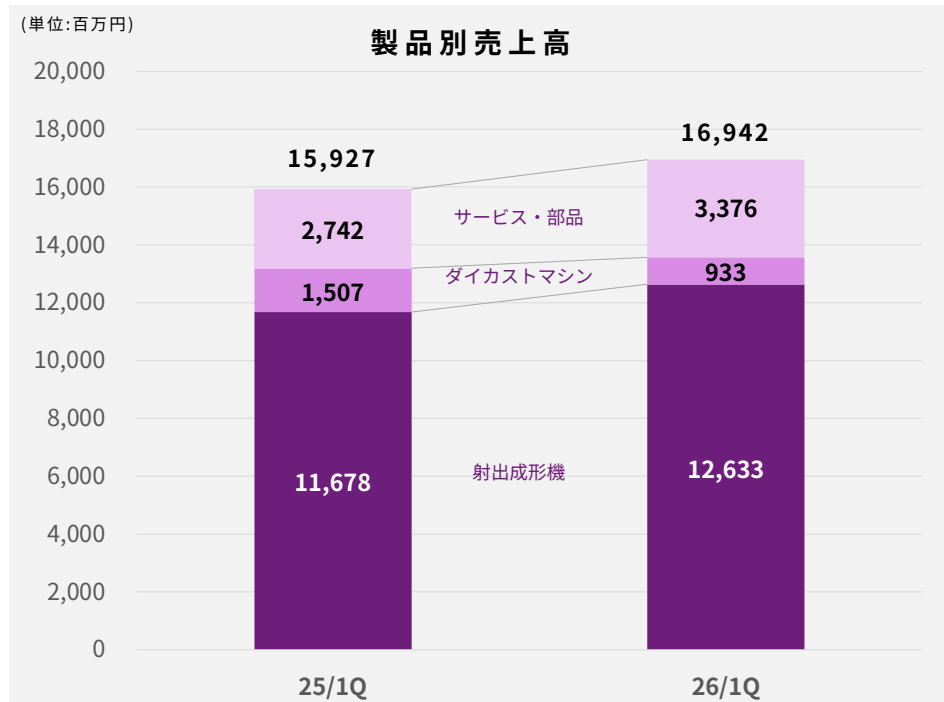


■ 1-4 連結売上高（製品別 射出成形機（周辺機器・金型含む）、ダイカストマシン、サービス・部品）

射出成形機は、中国、インドの自動車や生活用品関連で増加し、126億3千3百万円の売上高（+9億5千5百万円）

ダイカストは、中国、ベトナムの自動車関連が減少し、9億3千3百万円の売上高（-5億7千4百万円）

サービス・部品は、中国、ベトナムなどで増加し、33億7千6百万円の売上高（+6億3千4百万円）



1-5 連結貸借対照表

固定資産における「負ののれん」は、65億9千6百万円
自己資本比率は49.9%となり、1株当たりの純資産は879.99円

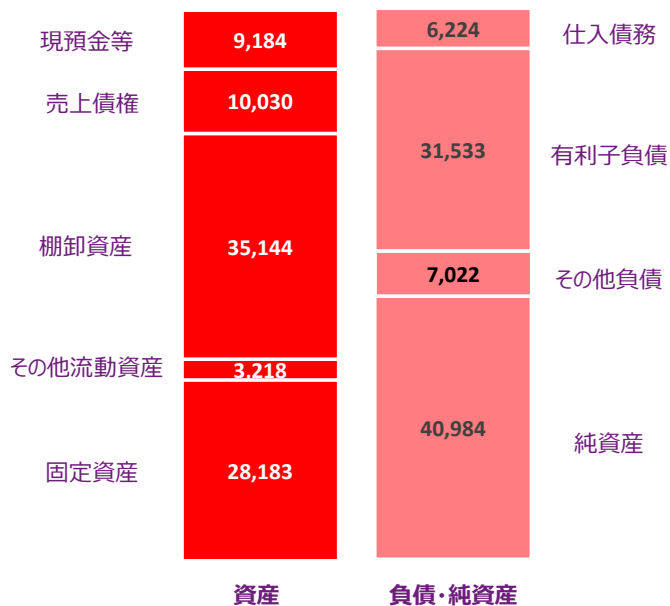
日精樹脂工業
85,763

TOYOイノベックス
32,588

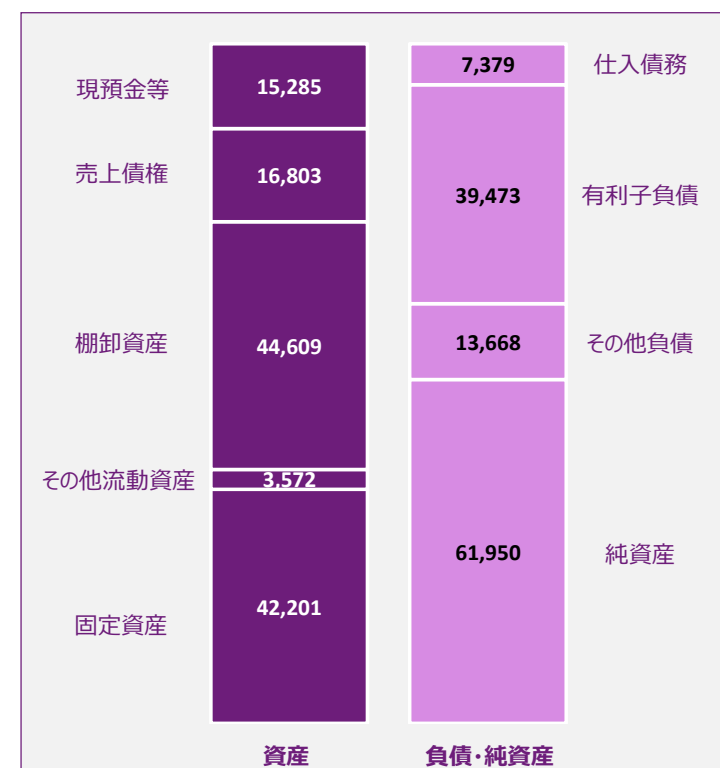
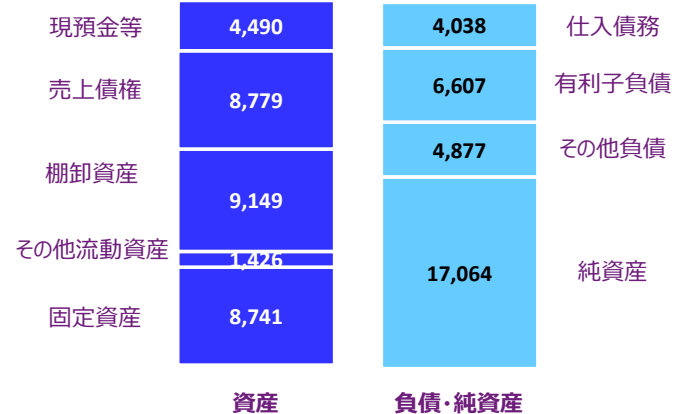
GMSグループ
122,472

(単位:百万円)

(単位:百万円)



(単位:百万円)



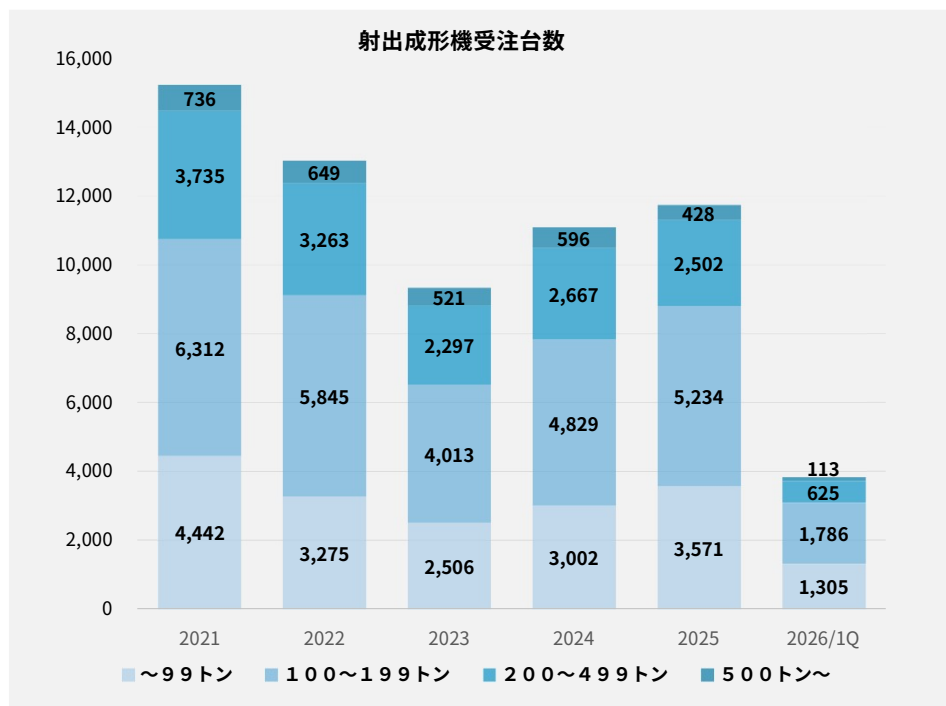
■ 2

2027年3月期通期業績見通し

2-1 事業環境の概要

射出成形機

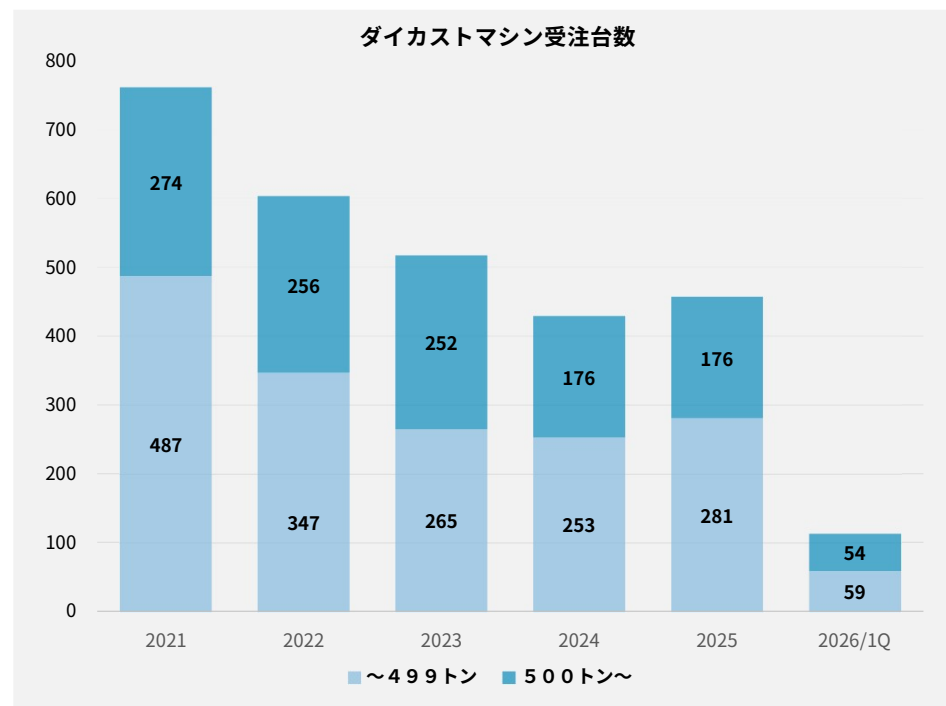
2025年から半導体やAIデータサーバ関連等向けの小型成形機（200トン未満）の需要が増加、今後はヒューマノイドロボットやフィジカルAIといった領域でも需要増が期待される



出典：日本産業機械工業会

ダイカストマシン

EVシフトの遅れや、ウクライナ、中東での紛争長期化の影響で、自動車関連での設備投資が世界的に回復に至っていない状況に加え、主要市場である中国、インド、アジア地域において、海外メーカーとの競合機会が増えてきており、日本製ダイカストマシンの受注台数は厳しい状況



出典：日本ダイカストマシン工業会

2-2 2027年3月期通期連結業績予想

単位:百万円	2025年度通期 (※2社単純合算)	2026年度通期	前 期 比	
			増減額	増減率
売 上 高	75,595	81,000	+5,405	+7.1%
日 本	21,612	22,400	+788	+3.6%
欧 米	24,538	26,400	+1,862	+7.6%
ア ジ ア	29,455	32,200	+2,755	+9.4%
営 業 利 益 (営業利益率)	▲1,407 ▲1.9%	1,270 1.6%	+2,677 +3.4%	—

POINT

26年度の市場は、これまでの自動車に加え、半導体やAIデータサーバ関連等向けで射出成形機の需要が増加すると予想
27年3月期通期連結業績は、売上高は810億円（7.1%増）、営業利益は、生産量増効果等により、12億7千万円を見込む

■ 3

2027年3月期 配当

3-1 2027年3月期配当予想

中間配当については、1株当たり5円を予定

(単位：円)

	中間配当	期末配当	年間配当
2027年3月期	5.00	未定	未定

配当方針について

- 当社は株主の皆さまに対する利益還元を経営上の重要課題と位置づけております
営業キャッシュフローの確保を基本として安定的な配当を維持することを目指し、成長投資とのバランスを考慮した上で、フリーキャッシュフローを原資とした株主還元を基本方針といたします
- 当第2四半期連結累計期間を基準とする中間配当金につきましては、当社グループの当期の業績見通しならびに受注状況等を勘案し、1株当たり5.00円とする予定です
- なお、期末配当金につきましては、現在策定中の第1次中期経営計画においてキャッシュアロケーションを精査しており、11月に予定している中期経営計画の開示にあわせてお知らせする予定です

■ 4

P M I 進捗状況

4-1 統合シナジーの検討状況

- ・ 統合シナジーについて、現場メンバーも交えた議論を重ね、以下のセールスシナジーとコストシナジーに整理
- ・ 足元は効果発現に向けた具体的施策や定量効果等について検討を進めています

セールスシナジー

- | | | | |
|---|--------------------------|---|----|
| 1 | クロスセルによるシェアアップ | 両社の補完的な製品群を相互に提案し、幅広い成形ニーズに対応することで売上増加を図る | 短期 |
| 2 | サービス拠点・人材の相互利用による顧客満足度向上 | 迅速で高品質なサポート体制をグローバルに構築 | 中期 |
| 3 | 新要素技術の開発による競争力向上 | 2社の技術力・開発リソースを結集し、単独では成しえない新要素技術・次世代成形機開発によりシェアを高める | 長期 |
| 4 | ソリューション型ビジネスへの転換 | 顧客要求の多様化や価格競争への対応として、モノ売りからコト売りへの高付加価値型ビジネスへ変革 | 長期 |

コストシナジー

- | | | | |
|---|----------------------|--|-------|
| 1 | 製造拠点の相互利用による生産効率向上 | 製造拠点の相互利用により、両社の強みを踏まえた内外製の最適化で生産効率向上とコスト低減を図る | 短期 |
| 2 | 共同/集中購買によるスケールメリット享受 | 主要部品の集中購買・共同購入により調達コストの削減を図る | 短期 |
| 3 | 成形機の構成部品の最適化と技術力の融合 | 成形機の構成部品の最適化と可塑化装置の技術融合による製品競争力の強化 | 中期 |
| 4 | 重複製品/機能の合理化 | 製品ラインアップの統廃合の検討や工場・研究開発の拠点/機能の役割分担を再構築し、合理化を図る | 短期~長期 |

効果発現時期
(イメージ)

短期

中期

長期

長期

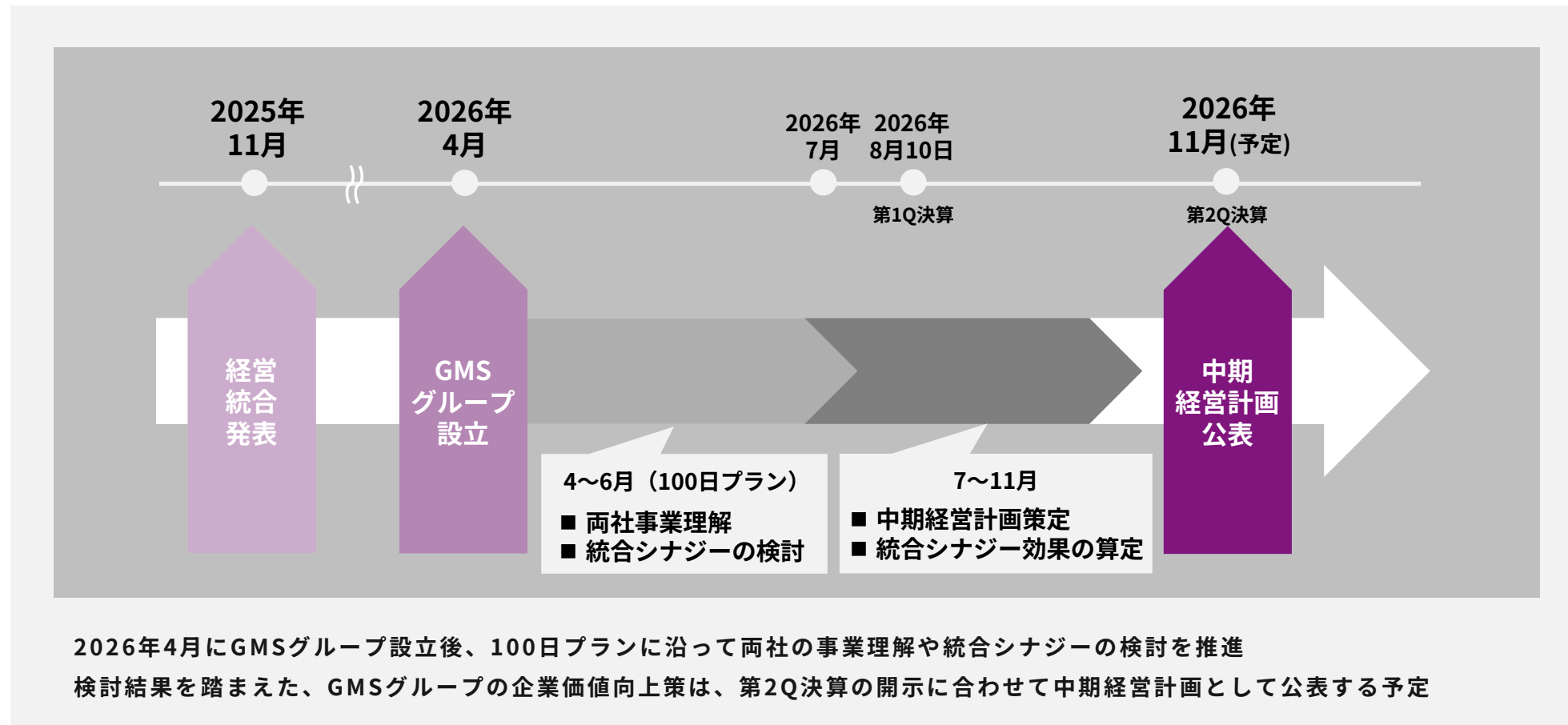
短期

短期

中期

短期~長期

4-2 PMIの進捗・マイルストーン





Thank you.

本資料に記載している将来の見通しに関する記載は、当社が現時点で把握可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の経済環境やその他の様々な要因の変化によって見通しと大きく異なる場合があります。

連絡先 GMSグループ株式会社
経営企画部

T E L . (0 3) 6 2 5 7 - 5 7 7 2